

# ☆☆子育てするなら ふっさ☆☆



## 『待機児ゼロ』が続くまちに



東京都は、7月に都内における今年度4月1日現在の「保育サービス利用状況等」を公表しました。待機児童数は、都内全体で前年度から652人増加して8,466人となり社会問題化しています。そうした中で、福生市では、保育園入園の待機児童数は、前年6名から0名と減少し、「待機児ゼロ」を達成しました。また、福生市は、就学前人口2,390人のうち、保育園利用児童数が1,379人で、保育サービス利用割合が57.7%であり、都内23区と26市で1番高くなっています。これは、保育サービスを受けたい市民が実際に保育サービスに結びついている『保育園に入園できる』＝『子育てしやすい』まち、であると言えます。

しかしながら、今後も保育需要の増加が見込まれるため市では市内保育園の協力のもと、待機児童対策や保育の質の向上を進めていきます。

### 〈待機児童対策について〉

#### ① 保育園受け入れ枠を拡大しました

市内認可保育園で、待機児が多い1歳児クラスの受け入れ枠を8人増やしました。

#### ② 定期利用保育の拡大を行いました

年度ごとにお子さんをお預かりする「定期利用保育」の受け入れ枠を増やし、利用しやすい制度にしました。

(1) 実施園・受け入れ枠の拡大…1か所(2人)から4か所(18人)

(2) 利用期間の拡大…6か月から最大1年間に拡大

(3) 利用日時の拡大…月～金曜日、1日8時間を月～土曜日、1日11時間(延長可)に拡大

(4) 保育料の軽減…1日2,200円を通常入園と同様、所得に応じた月額に変更

(5) 進級保障…進級時に優先的に市内保育園へ入園できるように配慮

#### ③ 認可保育園の定員を増やします

保育園の園舎建替事業に伴い、市が経費の一部を助成し、定員を増やします。

杉ノ子第三保育園の定員を130人から135人に増やします。(平成29年4月)

福生杉ノ子保育園の定員を120人から125人に増やす予定です。(平成30年4月)

### ■福生市の保育サービス利用者数と待機児童数の推移(各年度4月時点) (人)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
保育サービス利用者数	1,317	1,335	1,344	1,373	1,379
待機児童数	25	0	5	6	0